

進路だよい！

川口市立戸塚中学校
42期 第3学年
第10号
令和3年9月30日（木）

「受験の方法」(三者面談までに親子で確認してほしいこと)

☆公立第1希望とする場合☆

①公立Aを第1希望とする。公立受検の前に、私立aを「併願推薦受験」する。個別相談にも行き、「成績も私立aの基準を満たしているので、併願推薦受験して下さい。」と高校の先生から言われている。

②公立Aを第1希望とする。公立受検の前に、私立aを「併願推薦受験（個別相談で併願推薦受験するよう言われている。）」そして私立bも「併願受験」する。

※②のケースでは、私立bは一般受験（推薦基準に不足、または推薦制度がない…等。）ということもあり得る。

③公立Aのみを受検する。

※③の場合、確実に合格するためにも、自分の実力と同等よりは少し余裕をもって受検できる学校を選択することをお勧めせざるを得ません。また、当日の試験で思うような点数がとれなかったり、当日体調を崩したりと、不安は残りますので、万が一、唯一受検する公立高校が不合格であった場合、どのように考えているのか（たとえば2次募集で「〇〇高校の定時制を考えている。」といったように。）ということも、今回の面談でお伺いしていきます。

☆私立第1希望とする場合☆

④私立aを「単願推薦受験」する。個別相談にも行き、「成績も私立aの基準を満たしているので、単願推薦受験して下さい。」と高校の先生から言われている。

☆就職希望の場合☆

⑤中学校卒業後、すぐに就職する。就職に関しては既に動き始めています。

⑥中学校卒業後、すぐに就職するが、同時に夜間定時制高校に通いながら、高卒資格取得を目指す。

※以上が、想定される代表的な“受験の方法”かと思います。この他にも国立高校や高等専修学校を第1希望とする場合をはじめ、上記とは異なる受験の方法はありますので、「**自分はどういう受験の仕方をしていくのか**」ということ、**11月の面談の際、きちんと担任の先生に説明できるように準備しておいて下さい。**特に国立や私立難関校の受験日、発表日と公立高校の出願日等の確認をしておきましょう。また、他県(公立)を受検する場合は、埼玉県と動きが異なる場合もあるので各自で確認しましょう。

